

平成 29 年度岩手県障がい者スポーツ指導者協議会運営方針

1.基本方針

第 16 回全国障害者スポーツ大会・希望郷いわて大会での盛り上がりを継承するため、本年 1 月に設立された岩手県障がい者スポーツ協会と協同し、地域におけるスポーツ振興のキーパーソンとなる市町村体育協会やスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ等との連携をさらに深め、会員が活動しやすい情報提供に配慮しながら、障がいのある方々が日常的にスポーツに参加できる環境整備に努める。

2.事業の重点目標

- ①会員数の拡大
- ②公認障がい者スポーツ指導員及び関係団体への情報提供
- ③会員及び指導者間の交流促進及び活動支援事業
- ④各地域における活動支援

3. 具体的取り組み

①会員数の拡大について

- ・指導者資格のノーマライゼーション
→一般スポーツ関係者への資格取得推進。
→すべてのスポーツ指導者が障がい者・高齢者等を受け入れられるように取り組む。
- ・資格更新の案内
→資格取得者に対して更新状況を通知する（年 2 回）
→会費納入については、郵便での振替の他、イベント参加時での集金、所属先及び団体でまとめて集金する等、様々試みることとする。
→会費納入時には役員・会員からも声かけ等、協力、入会案内（※）をお願いしたい。

区分/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
公認指導者（新規・更新）	136	161	173	207	237	249	260
指導者協議会入会者	36	45	90	106	153	132	180
加入率（％）	26	29	52	51	65	53	70

参考：公認指導者数と指導者協議会入会者数の推移（※平成 29 年度は目標値）

②公認障がい者スポーツ指導員及び関係団体への情報提供

- ・会員だけではなく、すべての公認指導者への情報発信（継続）
 - ・入会方法やイベント情報を岩手県障がい者社会参加推進センターHP にアップする。
- ※岩手県障がい者スポーツ協会 HP を制作中
- ・情報部による会報作成及び SNS 等を活用した情報発信（組織整備と併せて実施）

③会員及び指導者間の交流促進及び活動支援事業

- ・フォローアップ研修会の企画・実施
- ・県内外の研修及びイベント情報提供
- ・各会員による所属先及び関係者等への周知協力（情報提供）

④組織整備（東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会の部会編成に合わせる）

- ・研修部・・・各種研修会の企画・運営
- ・情報部・・・情報発信と共有

- ・指導部・・・指導力アップに向けた方向性の共有（活動の魅力を伝え、活動に誘う）
- ※会員の部会所属については、効果が明確でないため、実施しない。
 ※核となる部会員を数名配置する。

◎参考資料：昨年度の地域別指導者数

※（ ）内の人数は公認指導者数

※別紙 H28.3.31 現在の登録状況（毎月締めで日障協 HP にて更新）

ブロック名	市町村名
県央ブロック 85名（117名） 加入率 73%	盛岡市、滝沢市、雫石町、矢巾町、紫波町
県北ブロック 27名（38名） 加入率 71%	八幡平市、二戸市、宮古市、久慈市、岩手町、葛巻町、一戸町、九戸村、軽米町、洋野町、岩泉町、野田村、普代村、田野畑村、山田町
県南ブロック 41名（79名） 加入率 52%	花巻市、北上市、奥州市、一関市、遠野市、釜石市、大船渡市、陸前高田市、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町、住田町、大槌町
（県外 3名）	北海道、青森、宮城
153名(237名)	合計



◎各地域における活動支援

- ・各地域におけるスポーツ教室開催
 - 市町村スポーツ担当課、体育協会等との連携事業として開催
 - 日本障がい者スポーツ協会助成金を活用（地域におけるスポーツ振興事業）
- ・市町村体育協会や総合型地域スポーツクラブとの協同事業開催
 - ※9月24日（日）にユニバーサルウォーキング教室（仮称）を開催
 - 御所湖周辺のウォーキング教室&ニュースポーツ体験（卓球バレー等）